

システムバージョンアップ（Ver2.1.8）に伴う見積様式 Excel シートの切り替えについて

今回の業務委託見積システムバージョンアップ（Ver2.1.8）に伴いまして、見積書様式の一部を改訂しております。システムバージョンアップ時に使用する見積様式ファイル（Excel 形式）を切り替えるように設定しておりますが、ユーザ様独自に見積様式ファイルをカスタマイズされている場合などは、別途対応が必要となる場合があります。以下の内容をご確認の上、ご対応をお願いいたします。

1. 今回のバージョンアップ時に変更された見積書様式と修正箇所

新しい見積書様式ファイル : 見積書様式 v052.xls(xlsx)

修正された箇所：同ファイル内の「金額構成」シート

修正概要 : 「金額構成一覧」表の列（調整額）追加及び行数の追加

Figure 1: Screenshot of the Microsoft Excel interface. The spreadsheet displays a table with columns for various cost categories (e.g., 金額合計, 人件費, 労務費, 機械経費・材料, 通信運搬費, 材料費, 電子計算機使用料, 調整額, その他経費) and a unit column (単位: 円). The '調整額' column is highlighted with a red rectangle. The '金額構成' (Cost Breakdown) section is also highlighted with a red rectangle. The status bar at the bottom indicates the active sheet is '金額構成'.

## 2. システムバージョンアップにより自動的に行われること

- (1) システムをバージョンアップすることにより、見積書様式\_v052.xls(xlsx)がセットアップフォルダ配下の¥DATA¥XLS フォルダに格納されます。
- (2) システムバージョンアップ後にシステムを起動した際、環境設定で Excel シート保存先の元シートに設定されている Excel シートが標準の「見積書様式\_v051.xls(xlsx)」に設定されている場合に限り新しい「見積書様式\_v052.xls(xlsx)」に自動切り替えを行います。

※既定の様式をご利用の場合でも、何らかの事由によりファイル名の末尾が v 051 より前のもの（数字が 050 より若い数字）である場合は自動で切り替わりません。その場合は手動で今回の v052 に切り替えてください。

## 確認手順

- (1) システムのバージョンアップ（セットアップ）を行います。
- (2) システムを起動して環境設定を開き Excel シート保存先の元シートを確認します。

※元シートのファイル名が「見積書様式\_v 052.xls(xlsx)」になっている場合は、通常そのままご利用になれます。

## 3. ユーザ様により見積様式シートを加工している場合の対処方法

独自に見積書様式シートを加工されている場合は、次の2つの方法のいずれかにより対応した様式ファイルを作成してください。

- (1) 現行お使いの様式シートに加えたカスタマイズ内容を新しい様式シートにも同様に加える
- (2) 現行お使いの様式シートに新しい様式シートの変更内容（「金額構成」シート）を反映（コピー等）させる。

※今回の変更内容は1で示したとおり「金額構成」シートのみですので、(2)がおすすめです。

※尚、システム機能として提供しております鏡シートの独自設定「☐オリジナル鏡シート」機能のご利用に関しては、ユーザー様独自のシート加工にはあたりません。あくまでも元シートを加工されている場合のみ上記対応が必要となります。